

イデックスオイルレポート ~For a week~

2023/4/7作成 (株)新出光

【概況】<主要産油国の減産発表>

●31日、インフレ指標としてFRBが重視する同指数が鈍化したことで、FRBが利上げに慎重になるとの思惑が広がり、リスク選好の買いが優勢となりました。イラクのクルド自治区内にある油田からトルコを経由するパイプラインが依然として稼働を停止したことに加え、複数の油田が生産量を削減していると伝わったことで相場は75.67ドルへ続伸しました。

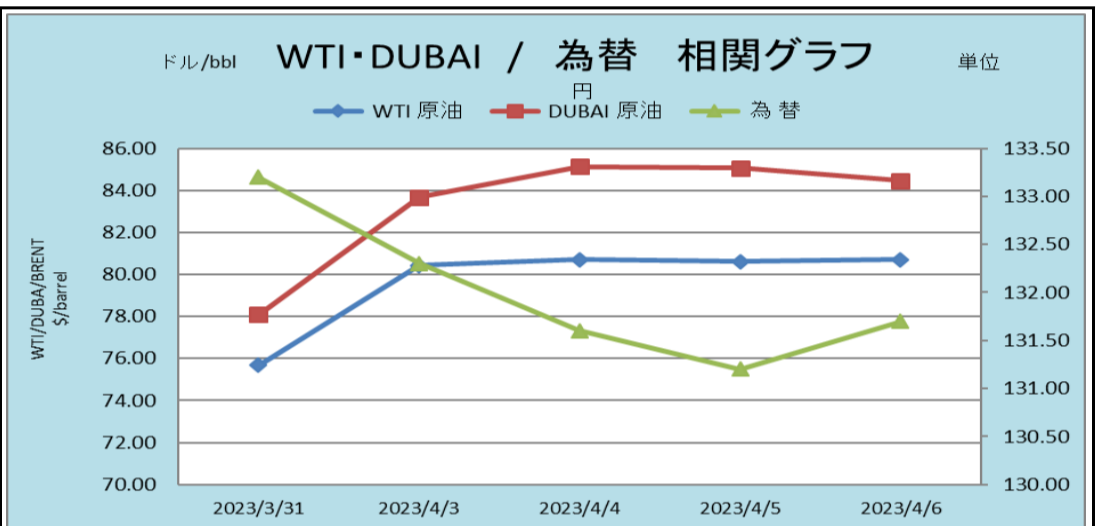
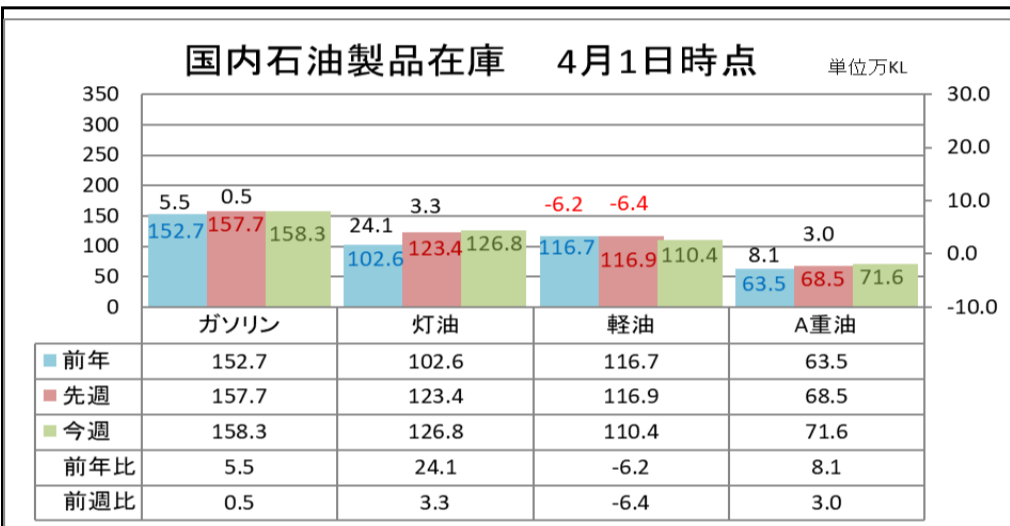
●3日、サウジアラビアは2日、「石油市場の安定を支えるための予防的措置」だとして、原油生産量を5月から年末にかけて日量50万バレル減らすと発表。石油輸出国機構(OPEC)加盟・非加盟の主要産油国で構成する「OPECプラス」のその他各国も自主削減に応じ、減産規模は合計で推定日量約116万バレルとなる。これにより、従来の日量200万バレルを合わせると、減産幅は日量366万バレルに拡大。予想外の追加減産表明を受けて需給逼迫懸念が強まり相場は80.42ドルへ続伸しました。

●4日、サウジアラビアの2日の発表でエネルギー需給の引き締め観測が広がる中、前日に続き強地合いとなりました。ただ、最近発表された経済指標が低調な内容となったことで、先行きの需要が落ち込むとの見方もあり、取引時間中には前日清算値を下回る場面もありましたが相場は80.71ドルへ続伸しました。

●5日、米民間雇用サービス会社ADPが発表した3月の全米雇用報告では、非農業部門の民間就業者数は前月比14万5000人増と、市場予想を下回りました。また、米サプライ管理協会(ISM)のサービス業後退担当者景況指数(PMI)は前月から低下。これを受けて、米景気減速観測が台頭し、エネルギー需要にも影響するとの連想につながり相場は80.61ドルへ反落しました。

●6日、今週に入って弱い米経済指標の発表が相次いだことから、エネルギー需要の先細りを警戒した売りが先行。相場は未明にかけ、軟調に推移しました。3連休入りを控え、朝方になると徐々に買い戻しが広がり、プラス圏に浮上。石油輸出国機構加盟・非加盟の産油国で構成する「OPECプラス」が2日に追加減産を表明したことや、5日の米エネルギー情報局(EIA)週報で原油とガソリンが市場予想を上回る取り崩しを示したことなどが相場を支え80.7ドルへ小反発しました。

4月7日 16:00現在 WTI原油 80.46ドル 為替 1ドル 132.78円



【次回元売り変動予測】

	次回元売り変動予測	
	4/13~	元売変動予測
ガソリン	→	-0.3
灯油	→	-0.3
軽油	→	-0.3
A重油	→	-0.3
LSA	→	-0.3

※原油コスト「+4.5円」
 ※激変緩和補助金「-16.8円」前週比-4.8
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】<製油所を「次世代エネ拠点」に ENEOS、SAFや水素製造>

石油元売り各社は製油所を脱炭素の拠点を転換する取り組みを進める。ENEOSは石油精製を停止する製油所で持続可能な航空燃料(SAF)を製造する。出光興産は既に石油精製を終了した事業所をアンモニアの輸送基地にする。脱炭素への対応に加え、石油製品の国内需要が減少するなかで、各地域の需要を見越して次世代エネルギーの拠点づくりを目指す。業界最大手のENEOSは2023年10月に石油精製をやめる和歌山製油所(和歌山県有田市)で、仏エネルギー大手のトタルエナジーズとSAFを製造する予定だ。廃食用油などを原料とし、26年までに量産体制を整える。将来は年間30万トンの製造を視野に入れる。ENEOSは水素としての拠点を狙う。川崎製油所(川崎市)などの製油所では、常温で運搬できるように水素をトルエンに反応させてメチルシクロヘキサン(MCH)から水素を取り出す実証をした。出光は30年までに製油所を低炭素・資源循環エネのハブへと転換するモデルをつくる。既に石油精製を停止している徳山事業所(山口県周南市)では20年代後半までに、海外から調達するアンモニアを受け入れられるようにする。徳山事業所がある周南コンビナートでは、タンクからパイプラインを通じて、石油化学製品の基礎原料になるナフサの分解炉や、石炭ボイラーなどにアンモニアを供給できるようにする。燃料もアンモニアに変えれば、燃やしてもCO2は出ない。コスモエネルギーホールディングス(HD)もSAF製造に取り組む。日揮HDなどと組み、飲食店や食品工場などから回収する廃食用油を活用する。コスモの堺製油所(堺市)に、年3万キロリットルの生産プラントを造る。

[出典]

① <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC158KG0V10C23A3000000/>

© 2022 SHIN-IDEMITSU Co.,Ltd. ALL rights reserved.